



ひたちなか治水だより

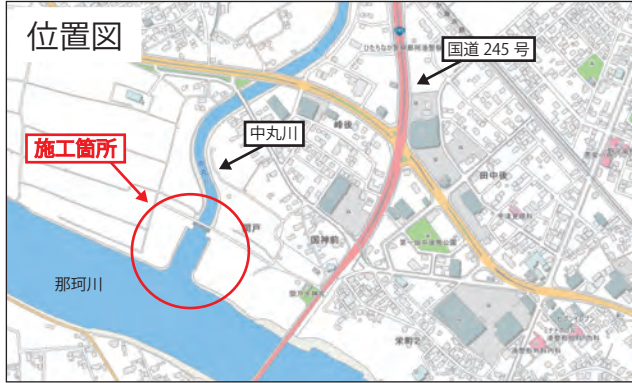
令和3年10月 第6号

発行：ひたちなか市建設部河川課
那珂川緊急治水対策推進室

ひたちなか市では水害から市民の生命・財産を守るため様々な治水対策を推進しています。
国・県・市を問わず市内で行われている治水対策についてご紹介していきます。

中丸川水門土砂撤去（浚渫）^{しゅんせつ} 工事を実施しています。【国】

一級河川中丸川において、中丸川水門周辺に堆積し、通水阻害となる土砂等の撤去を行い流れをよくし、水門の機能を維持するための工事を行っています。周辺の皆様の生活環境保全に十分に配慮しながら施工しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



【工事のお知らせ】

工事場所：一級河川中丸川（中丸川水門周辺）

工事期間：令和3年8月16日～令和4年1月31日まで
9月21日から28日に測量を行いました。
12月上旬から土砂の撤去工事を予定しています。

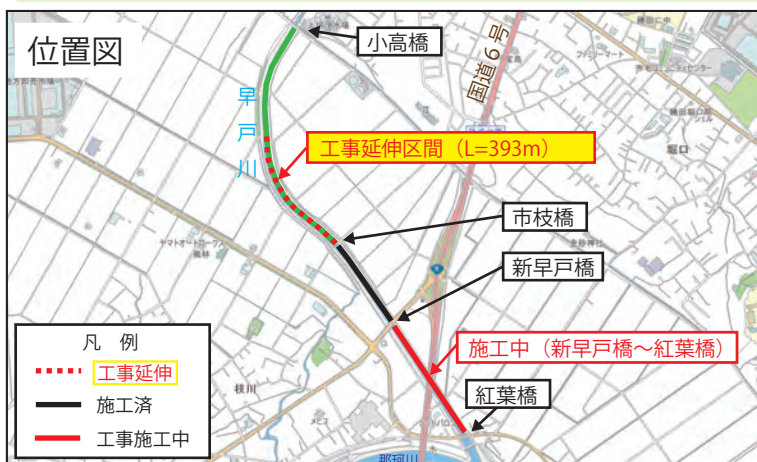
作業時間：午前8時～午後5時まで
（週休2日制実施工事）

請負業者名：松原建設株式会社



一級河川早戸川における河川改修工事が延伸されました。【茨城県】

一級河川早戸川では、河川の流下能力を向上させるために堤防補強や通水を阻害する河道内の土砂等の撤去及び堤防の嵩上げ工事を実施しており、新早戸橋から紅葉橋までの区間の整備工事が10月中旬に完了する予定です。さらに令和3年度の河川改修を延伸し、市枝橋から上流に約L=393mの河川改修工事を進めています。



市枝橋上空から上流（小高橋）を撮影



着手前



工事延伸区間施工中

河川改修工事：河川の掘削, 伐採, 堤防の補強 (危機管理型ハード対策)

【危機管理型ハード対策イメージ図】



【工事のお知らせ】

- 1) 工事場所
一級河川 早戸川 (市枝橋から上流に約393m)
- 2) 工事期間
令和3年9月6日(月)～令和4年3月15日(火)まで
作業時間 : 午前8時～午後5時まで(予定)
- 3) 請負業者名
河川改修工事(その1) : 請負業者 : (株) 中島工務店
河川改修工事(その2) : 請負業者 : (株) 八木組

工事施工中に作業音や工事車両の通行等、ご迷惑をお掛けいたしますが、細心の注意を払いながら施工いたしますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

内水ハザードマップを作成しました。【ひたちなか市】

想定最大規模降雨 153 mm/hr

※北西版, 北東版, 南西版, 南東版の4分割です。

ハザードマップについて

近年の局地的豪雨等により、浸水被害の発生が想定される範囲や避難場所などの情報を提供するとともに、防災意識の向上、浸水に対する備えに活用していただくために「ひたちなか市内水ハザードマップ」を作成しました。

この内水ハザードマップは、国土交通省が公表している関東地域想定最大降雨量である時間雨量153mmを想定して、その浸水範囲と深さを示したものです。浸水範囲と深さは、地盤の標高データを使用し、浸水シミュレーションにより想定しています。

想定される浸水は、雨の降り方によって拡大する場合や浸水範囲ではない場所(表示のない場所)でも浸水が発生する場合があります。

気象情報や近辺の状況に注意し、日頃の準備・心構えとしてご活用ください。

想定最大規模降雨153 mm/hr

この地図の表示範囲

作ってみよう! マイ・マップ

- 自分の家から避難所までの道のりを書き入れて「マイ・マップ」を作ろう
- 地図の道・鉄道や主要な道路を参考に道の通って避難するルートと相談してみよう
- 「マイ・タイムライン」とあわせて自分たちのハザードマップを完成させよう
- 台風時期や大雨が降りそうな時には、作成した「マイ・マップ」、「マイ・タイムライン」を常に確認しよう

私たちの避難所

近年の局地的豪雨等により、浸水被害の発生が想定される範囲や避難場所などの情報を提供するとともに、防災意識の向上、浸水に対する備えに活用していただくために「ひたちなか市内水ハザードマップ」を作成しました。

この内水ハザードマップは、国土交通省が公表している関東地域想定最大降雨量である時間雨量153mmを想定して、その浸水範囲と深さを示したものです。

浸水範囲と深さは、地盤の標高データを使用し、浸水シミュレーションにより想定しています。

想定される浸水は、雨の降り方によって拡大する場合や浸水範囲ではない場所(表示のない場所)でも浸水が発生する場合があります。

気象情報や近辺の状況に注意し、日頃の準備・心構えとしてご活用ください。

内水ハザードマップは、北西版, 北東版, 南西版, 南東版の4つに分かれていますので、該当する地区の地図をご参照ください。詳しくは河川課ホームページをご覧ください。

※河川課ホームページより、ダウンロードできます。QRコードからアクセス



市内で行っている治水対策工事について ～こんな工事をしています～【ひたちなか市】

市内においては、那珂川での築堤工事や中丸川の調節池建設工事、雨水幹線整備工事など、国・県・市がそれぞれ大雨に備えるための治水対策事業を実施しています。その中で、こういった工事が現場で進められているのかを紹介します。

大島第1幹線管きょ布設工事

◆ここから工事をスタートし、既設雨水管へ直径2mの管を繋げていきます。【推進工法】



工事内容【推進工法による雨水管の布設】

推進工法とは生活に欠かせない電気、ガス、水道などの地下に埋設する管路を、掘削機を使い掘り進める工法で、地表から掘削を行わないで施工を行う非開削工法の一つです。

地面を掘り、管を設置する「開削工法」と比べると騒音、振動、交通などの問題を解消し、工事の占有面積を小さくした施工で、特に市街地などの交通量の多い道路や開削が困難な箇所での施工に優れています。



地中を掘り進める掘削機



直径2mの雨水管

◆既設雨水管へ接続するための工事



上空からの様子



杭を押込む様子（圧入工法）

工事内容【圧入工法による土留めの設置】

現在、発進箇所から雨水管を推進工法で押し進めており、写真の位置で既設の雨水管と接続するために準備を行っています。接続の時に、地中を深く掘る工事を行うことから、施工時の土砂崩れ等を防ぐために鋼矢板等を打込み土留めを設置します。この工区では、従来の鋼矢板を叩いて打ち込む「打込み方式」ではなく、油圧により押込む「圧入方式」で施工します。この工法は油圧で鋼矢板を押込むことで、振動や騒音が「打込み方式」より抑えられ周辺環境に優しく、施工現場のコンパクト化や地盤を乱さない等の施工が可能となります。

市では、このほかにも多数の工事を行っており、さまざまな工法で施工しています。市街地での工事等も多数実施していることから、上記のように周辺の居住環境等に配慮した施工方式を積極的に取り入れ、工事を行っています。

一級河川大川の河川改修工事を行っています。【ひたちなか市】

一級河川大川では、川幅を拡げて築堤や河川の掘削を行い、水が流れる面積を増やし河川の流下能力を向上させる工事を実施しています。それに伴い橋梁の架け替え工事を行っており、現在はその橋梁（無名橋）の下部工事を行っています。



ケーシング工法による掘削



コンクリート打設前の鉄筋投入

高場雨水2号幹線管きょ布設工事を行っています。【ひたちなか市】

高場雨水2号幹線は、高場・稲田地区における内水被害を軽減するために整備しています。住宅地での工事のため、一時的に道路を復旧させるための「覆工板」の設置などにより周辺の居住環境に配慮ながら工事を行っています。



覆工板の設置状況



土質調査状況（ボーリング）

台風シーズンです。事前に土のうの準備！【ひたちなか市】

ひたちなか市では、災害に備えて土のうを備蓄しています。台風の前や秋雨前線による長雨など、天気予報による大雨の予報が出た場合に備えて、事前に土のうが必要な方へ配布しています。

※災害の備えとして、事前準備にご活用下さい。



土のうの備蓄

土のうを事前に用意したい方へ

土のうが必要な方は、天気予報などを確認し、事前に生活安全課までご連絡下さい。

TEL：029-273-0111（代表）内線 3211, 3218

※ひたちなか市からの運搬や回収は、行っていませんので、各自責任をもって管理等をお願いします。



事前準備例

ひたちなか市建設部河川課
那珂川緊急治水対策推進室
〒312-8501

ひたちなか市東石川2丁目10番1号
TEL 029-273-0111（内線 6418）

「ひたちなか治水だより」は不定期更新でひたちなか市の治水についてお知らせします。

ひたちなか市河川課のホームページでも治水に関する情報を公開しています。
アクセスはこちら→

